



入学・進級おめでとうございます

校長 南方 孝之



4月8日、この日を待っていたかのように校庭の桜が咲き誇る中、令和6年度の始業式、入学式が行われました。お子様の御入学・御進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本日、29名の1年生を迎え、全校児童221名で、令和6年度の福生第四小学校の教育活動がスタートしました。

福生四小の校長として3年目に入ります。本校の強みは、何といたっても保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りと力強い協力体制です。皆様の温かい愛情に囲まれ、子どもたちは素直にのびのびと成長しています。令和6年度も学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの豊かな学びと楽しい学校生活の実現を目指してまいります。今年度も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

本校では、生涯を通じて主体的に学ぶことの基礎を培う観点から、知・徳・体にわたって調和のとれた子どもを育てるために、次のような教育目標を定めています。

◎進んで学ぶ子（知） ○思いやりのある子（徳） ○体をきたえてがんばる子（体）

この目標を達成するために、授業はもちろん、休み時間・行事など、あらゆる教育活動を通じて、子どもの「生きる力」を伸ばす教育を推進していきます。今年度も『地域の中の学校』を意識して、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる子どもの育成を目指します。

満開の桜を眺めていると、春の喜びと希望を感じます。心を動かされる美しい姿は、それだけではありません。つぼみが枝先で固まっている姿、膨らみつつある姿、少しずつ色付きほころぶ姿、満開の華やかな姿、花びらが散るはかなさと静けさ…。成長の過程で見せる様々な姿に、美しさと喜びを感じます。

子どもたちも、自分の力が花開く前に、花を咲かせようという動機をもち、どんな花を咲かせたいかという目標を決め、つぼみの姿を変化させていきます。その過程で立ち止まったり、乗り越えようとしたり、手をつないだりする姿にも、美しさと喜びを感じます。

私たちは、そのすべての過程において、子どもたちの変容を見出しつつ支援しながら、その美しさを子ども自身に伝えようとする教職員でありたいと思います。そして、子どもたちが自己肯定感・有用感をもち、よく考える自分、誰かの役に立っている自分を見付け、周りの人の存在のありがたさを感じながら、学校生活を送ってくれることを願っています。

令和6年度も、皆様の御理解と御協力を、よろしくお願いいたします。



<コミュニティ・スクール(CS)委員会より>

- ・CS委員会は、学校目標に向かって学校のサポーター・保護者の協力者として又、地域の協働者として活動させていただきます。今年度も宜しくお願い致します。
- ・新年度最初のCS委員会を4月18日(木)9時30分から開催致します。委員会は公開されます。傍聴を御希望される方は、予め山崎まで御連絡ください。
- ・土曜クローバーは、4月20日(土)から始まります。内容・申し込みについては、4月初旬にプリントを配布させていただきます。
- ・CS委員会は、地域と学校を結ぶ役目も担っています。地域からの声をぜひ、CS委員会会長・山崎(070-5088-2198)までお聞かせください。

学校ブログ「四小日記」